



「大人のためのおはなし会」2023年度③

日時 2月9日(金) 13:30~15:30  
場所 西公民館 集会室  
申込み 1/9(火)~ (定員 30名)

小学校や中学校で語っているおはなしを大人の方にも楽しんでいただきたいと思います、お話を開きます。肉声で語られる世界各国の昔話や創作の物語をゆったりとお楽しみください。なお、申し込みが必要です。市役所 22-1186 までお電話ください。

「絵本とわらべうたの会」2023年度⑨

日時 1月16日(火) 10:00~11:00  
場所 大富士交流センター 2階和室

就園前の子どもとお母さんを対象にわらべうたで楽しいひとときを過ごします。当日定員に余裕がある場合は予約がなくても参加いただけます。

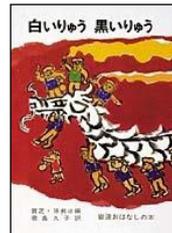
\* 2月の「絵本とわらべうたの会」はお休みです \*

市民読書サポーターのいる日程 1月

市立中央 図書館 (10:00~ 12:00)	6日(土)	13日(土)
	20日(土)	27日(土)
西公民館	16日(火) 10:30~11:30	

大人のためのおはなし会

9月の大人のためのおはなし会で、私は「ねこ先生と、とらのおでし」(『白いりゅう 黒いりゅう』岩波書店)という中国の昔話を語りました。のろまでぶきっちょな大とらが、こねこに頼みこんで山こえ谷こえの技や、獲物を捕らえる技を仕込んでもらいます。技を身につけたとらは、誓いを破ってこねこに牙をむきだしてとびかかり…。というこの話は、ねこととらの駆け引きをユーモラスに描いている話ですが、獲物を捕らえる時のねこの姿を描いたところが、思わず目に浮かぶ私の好きな場面です。語り手の好きな場面は聞き手に伝わると言われます。聞き手の皆さんの可笑しそうな表情を目にして、いっそう弾んだ気持ちで語ることができました。時にはこんな単純に笑えるおはなしも楽しいですね。



そして今回のおはなし会で面白かったお話のひとつが「ねこの大王」(『世界のむかしばなし』のら書店)です。棺桶を担いで行進するねこたちの姿。その場に遭遇した墓堀の男のあわてぶり。飼いねこトムのただならぬ様子。目で読んだだけでは気にも留めなかったお話が、語られることで生き生きとした情景を浮かび上がらせ、その場に居合わせているかのような感じでした。これからもおはなしの世界を楽しみたいと思います。(市民読書サポーター 齊藤栄子)

絵本の紹介



しろいゆきあかるいゆき

アルビン・トレッセルト さく  
ロジャー・デュボアザン え  
えくにかおり やく  
ブックローン出版

雪になりそうだと郵便屋さんがいい、雪のおいがするとお百姓さんがいう。おまわりさんのおくさんは、つま先がいいといい、それぞれに雪が降る前触れを感じている。雪が降りだし、雪は静かに積もっていく。郵便屋さんはゴム靴をブーツにかえ、お百姓さんは雪明りの中で乳しぼりをする。子どもは積もった雪で遊び、うさぎは走り回る……。時間の経過とともに、雪の中での人々のくらしが、静かな詩的なことばで表現されている。絵も美しい。



かせじぞう

日本の昔話  
瀬田貞二 再話  
赤羽末吉 画  
福音館書店

あるところに貧乏なじいさんとばあさんがいた。おおみそかになっても正月のもちもないので、じいさんは自分で編んだ笠を町へ売りに出かけるがひとつも売れない。しかたなく家へ帰る途中、雪をかぶった六地藏を見て、売り物の笠と自分の笠をかぶせてやる。家に帰るとばあさんがよいことをしたと言って、ふたりですっぽり飯を食って寝てしまう。正月の明け方に、外から声が聞こえるので起きてみると……。